

情報連絡一覧票（北海道中央会・平成29年3月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造	食料品	味噌・醤油	味噌出荷量(道内)：単月(29年2月) 前年対比 89.2% 醤油出荷量(道内)：単月(29年2月) 前年対比 87.0% ・2月単月(道内)で味噌・醤油ともに出荷量が悪かった。1月～2月の累計でも、味噌で89.7%、醤油で93.6%と非常に悪かった。 味噌の原料である外国産大豆は米国の豊作と南米産も豊作の見込みであるため、シカゴ相場が一時より下がって来ており、直近の為替も円高に振れていて、購入する側から見ると良い傾向にある。 米については特定米穀の価格が上昇しており、商品自体も入手しづらくなっている。その影響で外国産米の価格も上昇している。(全道)
		めん類	・根室地区の組合員企業が廃業した。釧路、根室管内で組合の商品を学校給食として長い間提供してきたが、役所側が別の安価な組合員外業者から納入を決めたことにより売上高が下がり、製麺業として成り立たない状況になってきている。(全道)
		水産食料品	・水産物全体で原料不足と価格が高い状況が続いている。(函館)
		飲料	・3月は天候に恵まれ、気温も例年より高かったため、飲料水の需要が高まり、売上が増加したようである。(全道)
業	木材・木製品	一般製材	・製材及び原木の市況は保合で変わらず。原木は入荷が順調に推移しているが、カラマツは春先に向けて在庫が不安である。トド・エゾでは、小径木不足が続いている。荷動きは順調である。梱包材等の動きも順調である。(全道)
		一般製材	・素材は順調に入荷し、工場在庫量は昨年同期比135%となっている。生産量及び売上高についてはほぼ前年並みで推移した。(幕別)
	紙・紙加工品	加工紙	・前年同月と比較して大差はなかった。(全道)
	窯業・土石製品	砕石	・十勝地域では昨年の災害の復旧工事の発注が3月にあり、工事が4月から5月に事業が動き出す。砂利の動きはその頃から発生する見込み。 来年度の砂利業界は、地域で違いがあるが、新幹線の札幌延伸や昨年の災害復旧工事などに期待している。(全道)
砕石		・3月の出荷数量は路盤用、生コン用ともに前年対比増となり、4月からアスファルト用も組合商流となったため、全体で売上高とともに前年対比増加した。(札幌)	
生コンクリート		・3月の生コン出荷量はおよそ150千m <sup>3</sup> であった。(全道)	

製 造 業	鉄鋼・金属	銑鉄铸件	・水道資材は低調であったが、自動車は好調だった。マンホールは前年並み。特殊銑鋼品は悪いが回復傾向にある。建機・農機部品は前年並み。原材料（銑鉄・スクラップ）や副資材で価格が上昇している。（全道）
		金属製品	・造船業界は、新造船の発注減少や海上物流の低迷で、海運市況の悪化が長期化している。造船・船舶関連企業の経営者は、今回の造船不況がどの程度まで長引くのか予想がつかない状況で、あと3年は不況が続くというデータ結果が出ている。協会の業者、全人員の仕事量が確保できない状況がまだまだ続き、先が見えない。（室蘭）
	一般機器	金属工作機械	・決算月に入り、印刷関連は仕事量が例年同様に増えているが、メーカーから用紙値上げ(15%以上)の要求があり、顧客への価格に転嫁するのはむずかしいとのこと。（札幌）
		金属工作機械	・昨年度と比較すると、1、2月の落ち込みを脱出し、全体的には大きく減少のない月となった。食品業界は相変わらず順調に伸びているが、金属関係で、昨年に設備投資を行った企業は順調に売上を伸ばしているが、その他の企業については現状維持が続いていた。雪も溶け、春以降の受注や売り上げに期待する。（江別）
業	その他製造業	金属工作機械	・金属加工業では本州向けの受注が順調であった。道内では酪農関係でサイロなどの受注が多かった。 粉体塗装では特殊塗装のため、引き合いは旺盛だった。（旭川）
		畳	・仕事量は引き続き多く、職人不足の状況である。そのため工事金額にも影響が出始め、若干アップしている。4月にはこの状況も一時的に収まる模様ではあるが、次年度も人手不足は続く見通し。（函館）
非 製 造 業	卸 売 業	菓子	・前年のうるう年で、2月の売上が前年比で減少した反動か、当月は月初めから動きが良く、前年超となったところが目立った。業界全体も概ね好調に推移しており、前年からみると状況は好転した。（全道）
		各種商品	・売上高については増加・不変・減少が組合員の中でも分かれ拮抗しているが、減少の回答がやや多かった。その他全般的に大きな変化はない。 当団地においては、老朽化した建物を解体し、土地の高度利用を図る計画が動き出した。3街区にまたがる8棟の建物を高層化して1街区1棟に集約し、空いた土地にホテル・マンション等を誘致する予定である。札幌市の都心まちづくり協議会にも参加し、駅周辺の再開発と情報交換しながら進めていく方針。（札幌）
		各種商品	・年度の替わり目で、決算手続きと同時進行で新年度の計画案や予算案の策定を急いでいる（当組合の通常総会は、5月19日開催予定）。新年度の計画案の中では、各組合員の共通の問題は働き手不足であり、組合として何が出来るかを検討し、計画の中に盛り込む予定である。（帯広）
	業	小 売 業	野菜・果実
各種商品			・3月の売上は季節的業種を除き、全般的に前年並みかやや低調に推移した。単価が上昇した業種がかなり増えているが、個人消費はまだ厳しく、依然として力強さは感じられない。（札幌）
各種商品			・物販見込 105.0 %（前年比較） 金融 94.5 %（前年比較） ・燃料代の単価値上がりや登録型各種料金の支払い、食料品の売り上げが堅調で、売上高が増加した。収益においては、ファイナンス収入の減少と設備投資費用の増加で悪化している。（旭川）
		各種商品	・本年度末の当社加盟、日専連とかち正組合員が昨年の65店から、代表者死亡による廃業で2店減少し、63店となった。（帯広）

非 製 造 業	小 売 業	各種商品	<p>・今年に入って仕入値が上がっている魚に関しては、2月末頃から取扱店が一斉に300円～350円の大幅な値上げをした。それでも、何とか赤字にならない程度である。</p> <p>売上高が減少した一因として、今までお得意様だった顧客が高齢化し、買い物が大変となっていることが挙げられると思う。各店で昔からの顧客がかなり減っているようである。 (小樽)</p>
		各種商品	<p>・3月は天候にも恵まれ、取扱高は好調だった。商店街での新規出店(開業)は少なく、ドラッグストア等の量販店の出店が続いている。春の季節となり、各地での「道の駅」の活気を期待する。 (苫小牧)</p>
		各種商品	<p>・3月の各組合員の状況について 3月の各組合員の状況は、全体的に前年より厳しい状況との声が多く聞かれた。2月同様に特に小売店関係の組合員で厳しいとの声が多かった。</p> <p>・(株)日専連釧路の3月の取扱高について 3月の取扱高については前月同様、燃料系の価格の高騰によって燃料系の取扱高が増加したことと、スプリングセールを実施したことより、特にカード部門で前年を上回る結果となった。3月についてはカード以外の部門についても、若干だが前年を上回る好成績となった。 (釧路)</p>
		燃料小売業	<p>・3月に入り原油価格は続落し、下旬には1バーレル49ドル台となった。さらに円高ドル安基調も加わり、円建て原油コストは昨年11月末以来、ほぼ4ヶ月ぶりの水準に下がった。中旬以降、各メーカーの仕切価格も横ばい状況となっている。市況価格もここ1ヶ月は落ち着きを取り戻している。売り上げ状況は、例年に比べて小雪で暖冬傾向にあったため雪解けが早く、ガソリンの消費は前年に比べて若干増加したものの、暖房用燃料は逆に大幅に減少している。このため、収益状況は前年に比べて厳しい状況が続いている。 (稚内)</p>
		各種食料品	<p>・水産物商品の価格が上昇している。メインで取り扱うマグロ、イカ、サーモン、貝柱、イクラといった売上の高い商品の価格が高騰して、中には品切れとなるものもある。3月はお客さまも入学・卒業などで出費が多く、食品に回す金額も少なくなっている。 (札幌)</p>
		野菜・果実	<p>・客単価は減少したが、売上は前年同月比で横ばいした。 (札幌)</p>
		各種商品	<p>・観光客の入り込み客数が大幅に減少している。一番の要因は新幹線の開業時の実質値上げが考えられ、特に昨年は値上げ前の駆け込み需要があったため、その振りが大きな影響となったと思われる。しかし、2年目に向けて少しでも気運を高めようと、今年も開業一周年の3月25日(土)から4月9日(日)まで「函館朝市・北海道新幹線開業一周年記念セール」を加盟店全店で開催し、エリア全体で北海道新幹線を盛り上げたい。 (函館)</p>

非 製 造 業	小 売 業	燃料	<p>・3月のガソリン・灯油等石油製品の販売動向を見ると、一部地域に寒波等による需要増も見受けられるが、予想をはるかに下回る結果となった。要因は、依然基調が続いていることによると思われ、定量買いや定額買い等に影響が顕著に表れている。</p> <p>また、原油価格の動き等を受け、元売仕切り価格の変動が激しかったことから、末端販売店では厳しい競争環境等を背景に、確実な転嫁ができていないところも多い。</p> <p>さらに、競争環境の激化で値上げができず、量は出ても収益増にまで結びついていないというケースも一層多くなっている。いずれにしても、景気浮揚策などをスピード感を持って進めてもらうことを願うばかりである。 (全道)</p>
		電気機械器具	<p>・昨年4月からの電力事業自由化を受け、北海道電力は営業力の強化を図り、家電小売業界も省エネ機器の普及に協力する予定である。 (全道)</p>
		燃料小売業	<p>・ニューヨーク市場のWTI価格は3月1日に53.83ドルでスタートした。これはOPECの減産合意が実行されていることから月中に上昇下降するも、前半は50ドル台、後半は40ドル後半で推移し、3月29日では49.51ドルとなった。1月から協調減産が継続されて、これからの減産継続も話し合われているようだが、米国の原油在庫の増減により価格も変動している。 (組合員の業況)</p> <p>・3月の原油価格は若干上昇し小売価格も改定されたものの、量販店の影響を受けて一部で価格を下げざるを得ない店もあったようである。相変わらず量販店の影響が大きく、先月来同様、安値価格から適正価格に及ばず、利益圧縮と販売量減で前年・前月と同様に厳しい経営を続けているSSが多いようである。 (旭川)</p>
		自動車・自転車	<p>・気温が上がらなかつたため、雪解けが思ったほど進まず、動き出しは例年並みである。札幌市内は3月下旬の雪で打撃を受けた。 (全道)</p>
		燃料	<p>・3月は原油のシェールオイルの増産で値上げは一段落した。季節的に寒さが和らぎ、暖房油の売れ行きは減速しはじめた。</p> <p>自動車油は2度値上げが行われたが、月末に3円値下がりした。本地域は札幌に近く、札幌の影響を即日を受ける。</p> <p>北海道空知教育局で29年度の暖房油の入札が行われたが、安値でA重油で48.8円、灯油で50.9円など、札幌市の上期より低い入札価格となった。ダンピングがひどく、不当廉売か差別対価に該当するような価格だった。 (岩見沢)</p>
		中古自動車	<p>・全組合員ではないが、小売部門では少々上向きのようなのである。各イベント・小売フェアでも良い結果だったとの報告を受けている。クレジットなどの取り扱いも順調のようなのである。 (札幌)</p>
		農業用機械器具	<p>・雇用が少し厳しくなってきた。他は2月と変わらない。 (全道)</p>
	商 店 街	各種商品	<p>・藤丸百貨店の2月売上高は5億442万円で、前年同月比7%増。2ヶ月連続で前年実績を超えたが、目標とした10%増には届かなかった。</p> <p>大型店5店の1月売上高は18億6,400万円で、前年同月比1.9%増、スーパー3社は30億8,600万円で、前年同月比1.5%増。天候などの影響で来客数が減少するも、生鮮品の高値が続き、食料品の売上をけん引している。</p> <p>海外客に対応するため、帯広空港ターミナルビルに新棟が完成し、3月24日に供用を開始した。帯広市は平原通商店街にWi-Fi環境を整備し、藤丸百貨店に消費税免税一括カウンターの整備を予算化し、外国人観光客の誘客に向けて取組が進められる。 (帯広)</p>

非 製 造 業	サービス業	理容	<p>・3月に入り暖かくなるにつれて、人々の行動も活発化してきており、お客様の利用度も高まってきているように感じる。そのため一時期より改善されつつあるように思われる。業界としては高齢化が進み、理容師の後継者の育成が急務である。政府が進める、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えたインバウンドへの対応に歩調を合わせ、外国人利用者にとって利用しやすいサービス提供ができるハード、ソフト両面の体制づくりを推進する。また、これまで推進してきたキッズ、シニア、レディースの顧客獲得戦略を軸に、高齢化社会に対応する訪問福祉理容の推進など厳しい競争を勝ち抜ける業界をつくって行きたい。 (釧路)</p>
		ソフトウェア	<p>・2018年春の大卒採用活動が3月1日からスタートした。人手不足状態の中で売り手市場が続く見通しだが、北海道中小企業家同友会が会員企業65社で開催した合同企業説明会に参加した学生は、昨年より3割も少ない110人だったという。中小企業の採用活動の厳しさが露呈した格好だが、道内IT企業への就職希望者の獲得は一段と厳しい状況になっている。当組合員の話では学生は売り手市場だということを楽観視しているせいか動きが鈍く、企業側は学生が他社に流れないように形振り構わない採用活動を展開し、オワハラ（就活終われハラスメント）を強要しているとの話も聞こえてきている。</p> <p>3月決算のIT企業が多いが、首都圏を中心とした大手企業や大手ベンダーからのシステム受託案件が伸びて、当組合員を含め道内システム受託開発IT企業では、増収増益もしくは人手不足や単金が影響しても減収増益を確保できるところが多いと予想されている。</p> <p>新年度から道内中小IT企業にも、政府が進める働き方改革の波が押し寄せることが予測されている。新卒者の会社選びの要件で仕事のやりがいや給料だけでなく、休日制度や育児休暇などの福利厚生を考慮する学生が増えている現状から、既存社員に対する残業規制や長時間労働の是正はもちろん、新卒者に対しても企業側で対応せざるを得ない状況になってきた。しかし、このことは人件費や経費の上昇につながるため、いかに生産性を向上させて収益への影響を食い止め、社員満足度を上げるかを考えなければいけない。経営者側にとって頭の痛い課題となっている。 (全道)</p>
		公衆浴場	<p>・燃料となる重油の価格はわりと安価で安定していたようで、可もなく不可もなく現状維持だった。 (全道)</p>
		旅館	<p>・3月の宿泊入込見込みは約28,000人で、昨年同月相当数となる予定。音更町宿泊助成が12月から開始された成果と思われる。 (音更)</p>
	建設業	内装工事	<p>・商業地区の改装と病院改築や改修工事などがあつたが、技能労働者（職人）の減少や高齢化などは深刻な問題である。その結果、工期の前工程で遅れがある。</p> <p>改修工事などでは昨年度より工事量が増加している。同月で比較すると資金繰りはやや良かった。 (全道)</p>

建設業	管工事	<p>・組合員の業況 3月に入り雪解けが進むに伴い、冬期間に損傷した上下水道施設の修繕工事が主体となっている。また、給水工事も徐々に増加してきている。新</p>
-----	-----	--

非 製 造		<p>年度からの維持業務（浄化槽点検など）の発注が行われ、前年並みの業務量が確保されている。</p> <p>・地域の実情 3月に入り、除排雪作業の傍らで、土木工事（災害復旧工事・補正予算による道路造成工事）が進捗している。年度末で人の動きが活発化してきていることから、消費の伸びに期待する。 (名寄)</p>	
	電気工事	<p>・年度末近くに各官庁から29年度新規発注物件が一斉に告知され、獲得に向けて始動している。連休前にはある程度発注されると思われる。また、民間では大型商業施設・ホテル・病院など工事物件が告知され、それなりに工事物件はあるようだ。住宅は昨年度に引き続き好調である。</p> <p>全体的に物件増と思われるが、単価は上がっていない。また、技術者で人手不足が相変わらずあるようで、人材育成が急務である。道央圏はそれなりだが、他地域では厳しい状況であるとのこと。 (全道)</p>	
	左官工事	<p>・3月は例年端境期にあたり、比較的売上や引き合いが少なくなる時期であるが、今年は天候の関係で工期にズレ込みが目立ち、後半まで仕事が途切れる事が少なかった。 (札幌)</p>	
業	運輸業	一般貨物自動車運送	<p>・馬鈴薯や玉葱の収量は前年並みであるが、出荷は通常より早めに終わる見込みである。一般カーゴでは月末に荷動きが良化したものの、引越し荷物では例年よりダウンしたようである。域内輸送も一般カーゴ同様に月末に良化した。全体的には車両に余裕があったようである。 (石狩)</p>
		一般貨物自動車運送	<p>・売上高の減少は、荷物が増加していないためと思われる。この時期は例年荷物が多くはないため、経費の伸びも限定的である。燃料価格は昨年比で約17円上昇している。また、降雪が少ないため、除雪関係事業の企業では、予想とは少し離れた実績となっている。</p> <p>相変わらず人手不足で、労働時間の問題もあり、仕事の依頼を断ることもあるとのことである。 (小樽)</p>
		一般貨物自動車運送	<p>・セメント関連・雑貨・食品がやや良かった。衣料品・鉄骨・土石類・電材は不調だった。軽油価格が昨年同期より2割強も高く、値上げが落ち着いてほしい。慢性化するドライバー不足とドライバーの高齢化、労働時間短縮経費の増大などの対策に苦心しているが、荷主の理解と協力がなければ、解決は大変難しい。 (札幌)</p>
		一般乗用旅客	<p>・売上高は 前年同月比 2.5 % 乗務員数は 前年同月比 4.0 % 月分チケット取扱高は、 前年同月比 6.9 % (旭川)</p>

(中央会、行政庁への要望事項)

一般機器	金属工作機械	・JR北海道の3月4日のダイヤ改定で、稚内方面や北見・網走方面の特急に
------	--------	-------------------------------------

製 造			乗り換えが発生し非常に不便。経費の問題も含め、JR側は問題点を出し、鉄道の維持・活用に必要な事を道と一緒に国に働きかけるべきである。理由は長距離列車の更新が出来ない状況がサービス精神ゼロと見えるためである。荷物を持つ乗客の立場を考えていないため、ますます利用されなくなる。早期の新幹線延伸と、道東など観光資源を活かしたアクセスプランの策定が重要である。 (札幌)
		金属工作機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算で追加になった設備稼働にかかる助成金についての話を聞きたい（組合員向けの説明会など）。</li> <li>・泊原子力発電所の早期稼働を望む。</li> <li>・人を募集しても応募がないので、雇用対策を講じてほしい。（江別）</li> </ul>
業	窯業・土石製品	生コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気対策として、公共事業費の継続的な確保、住宅投資・設備投資等への刺激策の実施及び北海道新幹線札幌延伸工事の工期短縮等を望む。</li> <li>生コン工場の集約化を推進するため、積立金の課税免除等税制措置を創設してほしい。 (全道)</li> </ul>
非 製 造	小 売 業	各種商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の介護関連事業者と連携をして道内初となる「ショッピングリハビリ事業」を今年の5月からスタートさせるにあたり、2月の体験会に続き、3月28日にキックオフミーティングを開催した。この事業は住民を支える地域貢献CSRの一環であり、朝市をスタートにショッピングリハビリによるまちづくりが今後広がってほしい。また、各機関においては、可能な限りバックアップを望む。 (函館)</li> </ul>
	商 店 街	各種商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気の後退を回避するため、積極的な経済対策を講じてほしい。 (帯広)</li> </ul>
業	サービス業	旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道東道の「オサルシPA」 スマートインターの早期実現を望む。 (音更)</li> </ul>